

# 第1章 補綴様式概要

## 1. プラトンシステムの補綴様式

プラトンシステムの補綴様式は、セメント固定方式、スクリュー固定方式、マグネット固定方式の3つのタイプに分類されます。



### 《セメント固定方式》

#### セメント固定用アバットメント

- 天然歯と同様にアバットメント（ヘッド）に直接セメントにて合着または仮着する方式
- マージンを歯肉縁下に設定する場合は、セメント除去の容易性と適合確認領域を考慮し、歯肉縁下約 1.5 ～ 2mm が適応



### 《スクリュー固定方式》

#### クワトロヘッドを使用

- スクリューによって上部構造を固定する方式（術者可撤式）
- 対合歯までの垂直的クリアランスが 4 mm 以上のケースであれば適応可能（アングル付与には対応していません）
- カスタムアバットメントの製作が容易
- 将来的に上部構造の設計変更が予定されるケースに適応



### 《マグネット固定方式》

#### マグネットヘッドを使用

- 磁力を帯びた専用のアバットメントを利用してオーバーデンチャーを支持、維持する方式（患者可撤式）

#### ◎インプラント支持オーバーデンチャーの選択基準

- インプラントの埋入本数が理想を下まわり、粘膜負担を併用するケース
- 歯槽吸収が著しく、クラウン・インプラントレシオが逆転するケース
- インプラントに過度の側方圧が発生する可能性のあるケース
- インプラントの埋入方向が制限され、通常のアバットメントでは平行性が確保できないケース
- 患者のセルフケアに限界があり、セルフケアの容易性を重視したケース

## 2. 補綴設計に関わる要素

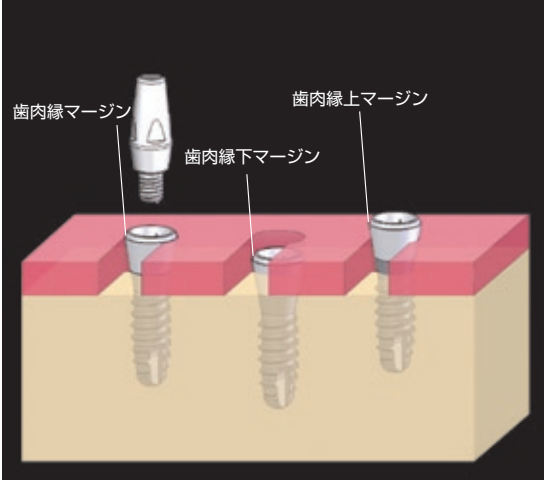
### 1) 上部構造マージン設定による分類

#### • フィクスチャマージン(FM)

インプラントボディ上に上部構造マージン部を設定します。インプラントボディ Type I、II、IV で対応できます。

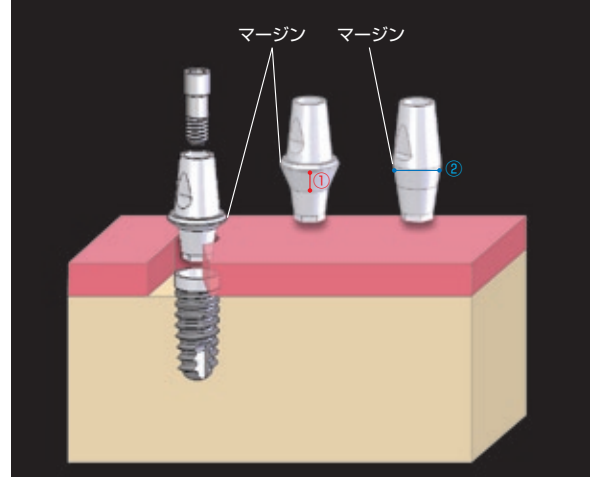
#### • アバットメントマージン(AM)

アバットメントのマージン設定部に上部構造マージン部を設定します。インプラントボディ Type III、IV で対応します。



フィクスチャマージン

マージン部の位置設定はインプラントの埋入深度によって決定するため、インプラント埋入時に確定されます。

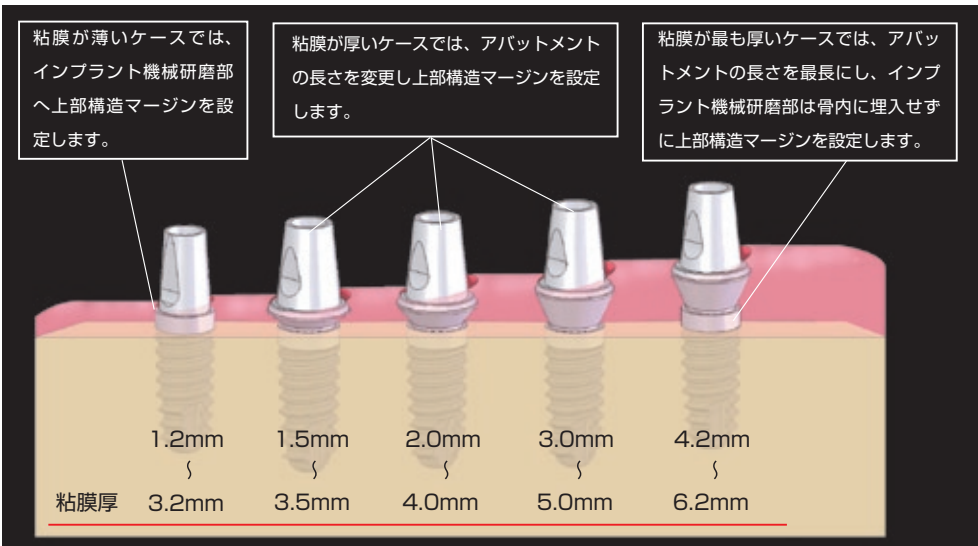


アバットメントマージン

マージン部の位置設定は、粘膜の厚み (①) や幅 (②) に基づいて選択したアバットメントによって決定するため、二次手術以降あるいはアバットメント選択時に確定されます。

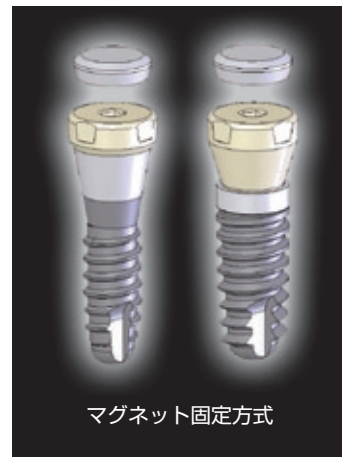
### 2) インプラント周囲粘膜の厚みによる分類

粘膜の厚みによって使用するアバットメントを選択します。アバットメント・フレアー部の長さでインプラント埋入深度を組み合わせることによって約 1.2mm ~ 6.2mm までの粘膜厚に対応できます。対応する粘膜の厚みは、セメント除去の容易性と適合確認領域を考慮し、歯肉縁下マージン約 1.5 ~ 2mm を想定しています。



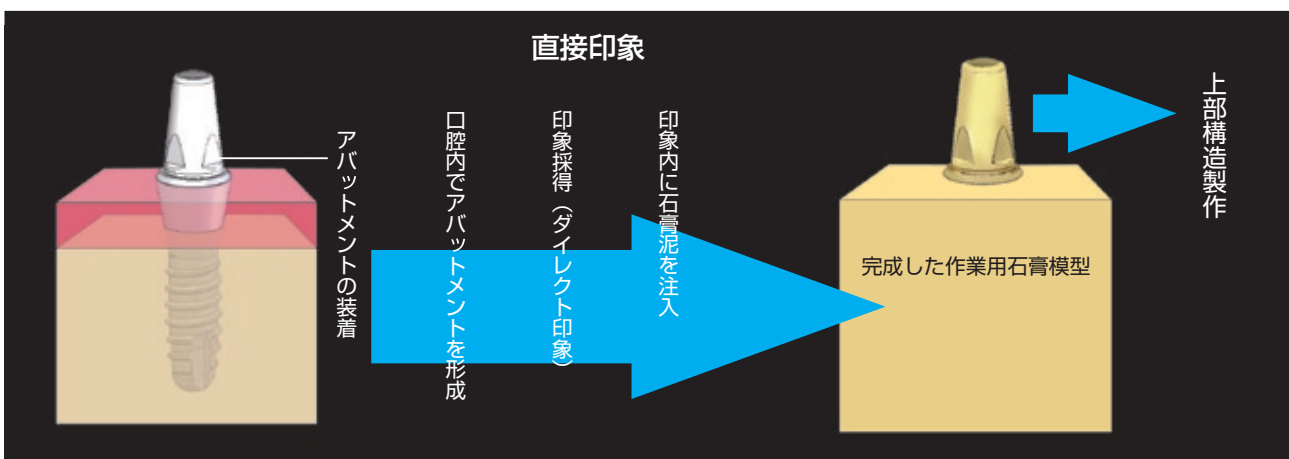
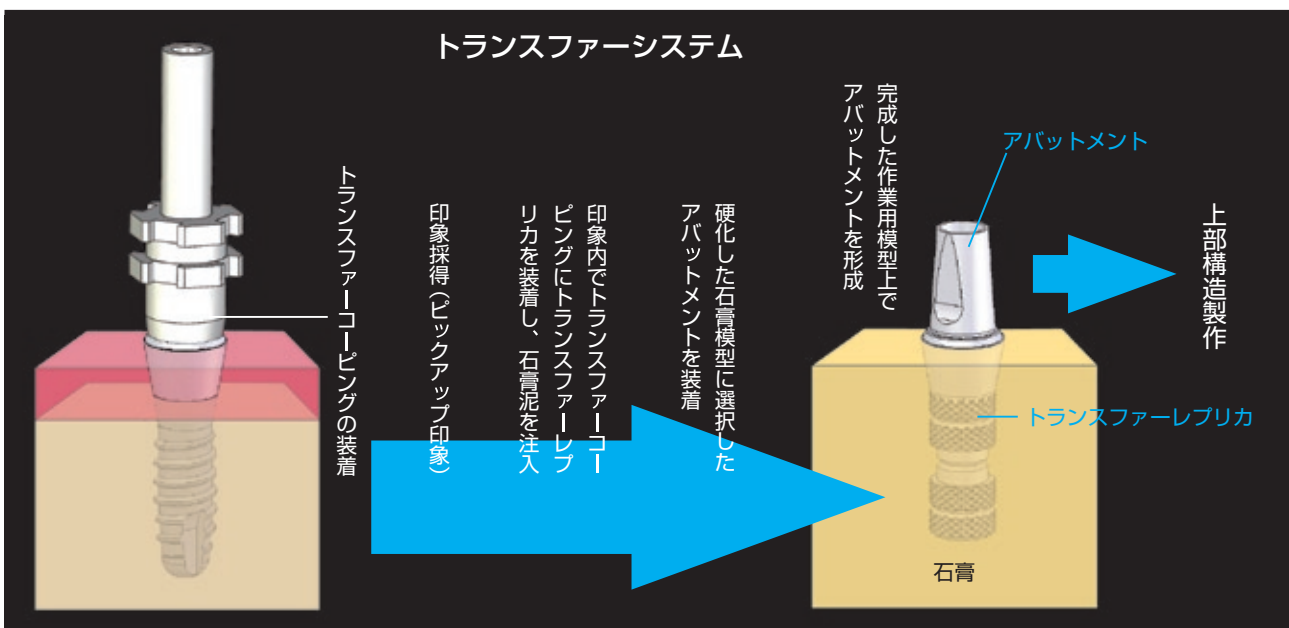
### 3) 固定方式による分類

P1：第1章「1. プラトンシステムの補綴様式」参照。



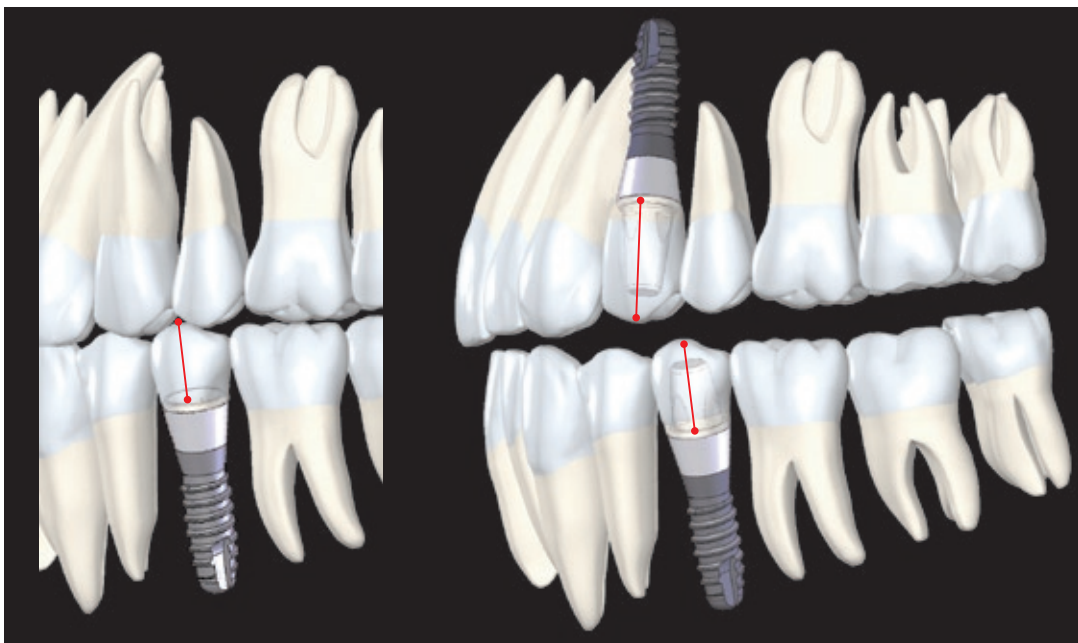
### 4) 印象方法による分類

印象採得法には、トランスファーシステムと直接印象の二つの方法があります。直接印象はスクリュー固定方式の上部構造には対応できません。



### 5) 対合歯とのクリアランス、最終上部構造の歯冠長による分類

対合歯とのクリアランスや最終上部構造の歯冠長によって、インプラントの埋入深度やアバットメントの種類・形成量がある程度決定されます。



### 6) 上部構造マージン部径（アバットメントの太さ）による分類

最終上部構造マージン部径の太さをどの程度に設定するか（前歯なのか？小臼歯なのか？大臼歯なのか？）によって、インプラントやアバットメントの種類が決定されます。

